

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
6年

自分でもできることからという考えを強くする

ストップ ザ 温暖化！

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



先頃行われた北海道サミット。このことをきっかけに、地球温暖化について考える学習です。子どもたちは、地球温暖化という言葉を聞いたことがあります、全体像をとらえているわけではありません。そこで、世界の現状と温暖化対策について考えることから自分でもできることに取り組ませていきます。

学習活動の流れ（25時間）

最高気温記録などの身近な話題や統計グラフなどを提示しながら、近年地球温暖化が進んでいることに気付かせていきました。

個別に課題をしらべていますが、具体的な数値やデータを集め、グラフや模型などを使ってまとめることを意識させていきました。

温暖化の現状を見える形で伝えるように、キャンペーンの方法や対象を整理していました。

今地球に起こっていることはなんだろう（4）

- ・サミットについてしらべよう
- ・環境問題、地球温暖化が大きなテーマだった
- ・今、地球に様々なへんかが起きている

地球温暖化って一体何だろう（6）

- ・世界中が問題にしている
- ・二酸化炭素が原因だよ
- ・世界中のどんなところにあるのだろう

温暖化を防止するための方法を調べよう（10）

- ・世界で、日本で、地域で、学校で、家庭で……
- ・風力発電は二酸化炭素削減量がすごい
- ・ガラスのピラミッドの HIDAMARI は雪冷房だがコストが……
- ・いろいろなところで、防止策が考えられている

6-1 サミット開催～地球温暖化を防ぐために～（1）

- ・いろいろな取り組みがあるが、自分たちはどうだろう
- ・学校でも消費電力をおさえることができる

ストップ ザ 温暖化キャンペーンを開こう（4）

- ・全校だけでなく、家庭や地域にも拡げていけそうだ
- ・一人一人ががんばっていけそうだ

北海道でサミットが開かれました。そこで話し合われた地球温暖化について問題は、子どもたちにもよく聞くことばになっています。

イサムノグチが設計した、モエレ沼公園近くの学校での実践です。



ガラスのピラミッドで研究

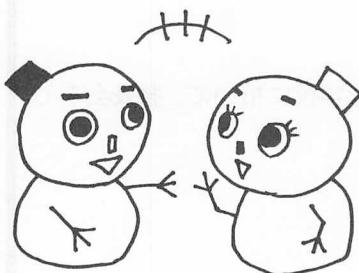
教材・活動の Point!

1. 身近な話題をきっかけに

地球温暖化という言葉は、テレビや新聞などでよく聞いています。しかし、全体像を捉えている子どもはほとんどいないため、北海道サミットを話題にあげ、地球に大変なことが起きているという思いをもたせていました。子どもたちは、これから社会を生きるために無関係ではいられないと感じたのです。

2. 世界の様子を調べることで

地球温暖化の仕組みは子どもにとって身近ではないので、みんなで学ぶ時間を設定しました。共通の情報を獲得することで関心をもったり、自ら考えていくための基盤ができたりしたのです。二酸化炭素が原因と思われる世界の窮状を調べていくなかで、「なんとかしたい」という思いは広がっていきました。



3. 一人一人の考えを交流することで

それぞれが温暖化について深めていった考えを交流することで、みんなで温暖化防止のために「がんばろう」「取り組んでいこう」という意識を高めていきました。そのことを「世界の中の人が知恵をしづり、努力をしている」という形で関係づけていくことで、自分たちのできることは何だろうと考えていくことの原動力になっていきました。

